

一本のオカリナが 人生の道を作る

幸か不幸か。

それを手に取っていなかった場合の人生を知らない
ので、全てタラレバ論になってしまうため分からない。

だが16歳の深夜、テレビで見た演奏者がきっかけで
遠く離れた街の楽器店へ出向きオカリナを購入して
から

そこには明確な道が出来た。

道のわきには10メートル間隔で木の看板が立っている。

“あきらめきれない道”

そう書かれている。

性格もあるのだろう。あきらめきれない。実力もところどころで褒められたりしてないわけでもなさそうだ。

敵も出来た。

輝かしいステージで皆、オカリナを演奏したいものば

かり。

そこには泥沼のような競い合いも確かに生まれるのだ。

苦しくて誰かのせいにしたこともあった。

・・・・・・・・・・落ちていった人らも横目で見ながら、
なんとか今もまだしがみついている。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。